

山形県医師会 “勤務医アンケート調査” 報告

はじめに

今、病院には医療制度改革、経営改善、効率化、セーフティーマネジメントなど様々な面での変革と要求の波が押し寄せてきています。我々医療人は、これらを時代の趨勢としてしっかりと受け入れて行くべきものだと思います。しかし、これらの問題にきちんと対処するためには人と時間と財源が必要にもかかわらず、人的経済的サポートはほとんどなく、医療行為のみでも多忙な勤務医が、自分の時間を削って待たなしてこれらに対応しなければならないのが実情です。一方、現在の勤務医は、個々に問題意識を持っていても、その実情を集約、分析、検討したり解決方法を模索するすべはほとんどありません。山形県医師会は、このような勤務医の状況を認識した上で、勤務医の実態を把握、問題点を分析し、その解決に向け医師会がどのような提言、サポートが出来るかを検討し、行動を起こすため、幾つかの対応を始たいと考えております。その一環として、山形県の勤務医が置かれている現状、問題点を把握する目的で、平成 17 年 6 月に県内全勤務医 1,298 名にアンケートを配布しました。この度その結果が出ましたのでご報告いたします。お忙しい中ご回答下さいました勤務医の先生方に深く感謝申し上げます。

山形県医師会と致しましては、この結果を基に、今後第一線の勤務医の先生方を含め各方面との話し合いを持ち、開業医、勤務医が団結して病院、勤務医の問題、ひいては医療の様々な問題の解決を計り、県民、国民の健康のためより良い医療達成に向け邁進して行きたいと考えています。

I. アンケート内容

省略

II. アンケート結果

このたび、県内の全勤務医 1,298 名（この内医師会会員 986 名（医師会会員の 57%））に勤務の状況、内容、病院の問題点、女性医師の意見などを問うアンケートを送付し、464 名（36%）より回答を頂きました。この度の回答を、基本事項、勤務内容、勤務内容に対する意識、経済問題、病診連携、女性医師、医師会について、意見（記述内容の解析）の 8 項目に分けて分析しました。

1. 基本事項（表）および 2. 基本事項（図）

回答者および勤務先病院の基本事項を表 1) 6) および図 1 - 図 7 に示しました。50 歳代以下が 85%、女性からは 59 名（全体の 12.7%）の回答がありました（図 2）。301 床以上の病院に勤務されている方が 65.5% を占め、専門科では内科系が 45%、外科系が 47% でした（図 3）。救急部門のある病院に勤務されている方が 84%（図 5）、当直医が 2 名以下の病院が 46%（図 6）、週休は 63% の方が 4 週 8 休である一方、10% は 4 週 4 休でした（図 7）。

3. 勤務内容

51% が朝 8 時前に出勤し（図 8）、外来日は平均 2.9 日/週、外来患者は平均 83.9 人/週、病棟受け持ち患者は平均 17.3 人/日、手術件数は（外科系）4.5 件/週、緊急手術 1.5 件/週などでした（図 9-図 15）。昼休み（1 時間）が殆ど取れない医師が 51%（図 16）とくに 30 歳代から 50 歳代の中堅層がゆっくり昼休みを取る余裕もなく働いています（図 17）。時間外勤務は平均 12.4 時間/週、16 時間以上/週が 28% も占めました（図 18）。

日当直をしている医師は 81%（図 19）、週日当直日は平均 2.5 日/月、休日当直日は平均 1.5 日/月合わせると月平均 4 日日当直をしていることとなります（図 21-22）。当直明けに休める医師は僅か 6%（図 23）、その上当直明けに対する配慮はほとんどありません（図 24）。

当直以外にも呼び出し体制のある医師が 83%（図 25）。その上休日にはしばしば出勤する（しなけ

ればならない) 医師は 56%にも上り(図 26)、若い年齢層ほど顕著です(図 27)。

本項目に関連した「意見」の内容を見ますと、昼休みが取れない、休日出勤する理由の殆どは、時間内に仕事が全く終わらないためと述べています(9.意見(記述内容まとめ):1)、2)、3)参照)。

4. 勤務内容に対する意識

医療業務が非常に多い、多いと考えている医師は 58%(図 28)、非常に多いと答えた率が最大の年齢層は 40 歳代でした(図 29)。医療業務に不満を覚えている医師は 40%(図 30)に上り、最も多い年齢層は 30-40 歳代でした(図 31)。

「医療業務が多い」とする内容について 192 名の方が具体的に述べており、9.意見(記述内容まとめ):4)を参照してください。昨今の医療制度改革によって次々と仕事量が増えてきていることが様々な形で切々と書かれておりました。また、医療業務に対する「不満」の原因としては、「医師、勤務医の医療業務負担の過多」、「雑用が多い」、「忙し過ぎ」などが主な内容でした(9.意見(記述内容まとめ):5)参照)。

医療業務以外の仕事が多いと答えた医師は 47%(図 32)、特に管理職が多いと思われる 50-60 歳代において多くを占めました(図 33)。しかし全体の 30%はこの仕事が重要と答え、41%はやむを得ない仕事と判断しています(図 34)。結局 71%の方はこの仕事が重要、あるいはやむを得ないと考え、下らないとしている意見は 5%に過ぎませんでした(図 34)。特に管理職が多いと思われる 50 歳代、60 歳代では重要と捉えている方が多く見られました(図 35)。ただし満足度を見ると、31%が不満を表明しており(図 36)、管理職年代である 50-60 歳代でも満足度は高くありませんでした(図 37)。

医療業務以外が「多い」とする理由を見ますと、152 意見中 125 意見(82%)は「会議が多い(多すぎる)」でした(9.意見(記述内容まとめ):6)参照)。この医療業務以外への「不満」理由の多くは「多い医療業務以外の仕事(主に会議)により、医療にしわ寄せが来ている」ことでした。また、これら病院の問題点を解決する方法については 412 もの意見が寄せられ、「医師不足の解消」を挙げた方が最も多く、その他「病院の体制改善」、「効率が悪い」、「給与の問題(時間外手当がないなど)」、「コメディカルの不足」、「施設の老朽化」などが挙げられています(9.意見(記述内容まとめ):8)参照)。

4. 経済問題その他

出張費の支給のない医師が 12%(図 38)、支給されても一部しか出ない医師が 26%(図 39)もありました。書籍代も含め個人で使える研究用の予算の全くない医師が 62%でした。学会費、年会費も全額個人負担が 53%、「ほぼ個人負担」も入れると 63%が個人で負担していました(図 41)。

意見の中には、時間外手当がないことを記しているものも複数ありました。

5. 病診連携

「病診連携を行っている患者数は？」の問いに無回答が 217 名(47%)に上った。患者数 0 名(行えるにもかかわらず一人も行っていない)の勤務医の人数は正確には分かりませんが、少なくないように思われます。病診連携を行っていると回答した 247 名の平均患者数は 16.1 名で(図 42)病診連携患者数が 10 人以下の勤務医が 67%を占めました(図 43)。「気楽に紹介出来る医療機関を幾つ持っているか？」の設問に無回答は 155 名(33%)、回答者 309 名の平均施設数は 6.5 施設でした(図 44)。逆紹介率は無回答が 26%見られましたが、51%の勤務医が 41%以上、12%が 81%以上の逆紹介率でした(図 45)。しかし、逆紹介の障害としては、「患者さんが戻りたがらない」ことが 56%と高値でした(図 46)。病診連携における IT の活用は 66%が前向きで(図 47)、開業医とのカンファランスも 50%が出席していますが、カンファランスがないところ(科?)も 26%見られました(図 48)。

7. 女性医師の回答

女性医師 59 名（全体の 12.7%）から回答がありました。20 代、30 歳代が 64%を占め、幼稚園児以下のお子さんを持つ方が 13 名でした。

女性への配慮は 60%が「必要」と感じ（図 52）、「仕事で男女の差別を感じた」は 15%、「感じていない」は 85%でした（図 53）。ご家族の協力は回答者の全員が何らかの協力を得ており（図 54）協力者の内最も多いのはご主人でした（図 55）。子育てに問題点があったかの問いには、「ややあり」を含めると実に 95%があったと答えた（図 56）。産休期間は 2 ヶ月以内が 41%（図 57）、育休期間は 3 ヶ月以内が 50%でした（図 58）。病院への要望は 3 項目がほぼ同数で、「託児所の設置」、「子供のための休暇」、「日当直の免除」でした（図 59）。医師としての継続の意志を問うたところ、77%が続けたいと答え、23%は迷っており、続けたくないと答えた方はいませんでした（図 60）。

女性への配慮の内容を問いますと、その 67%は「妊娠、子育てへの配慮」でした（9.意見（記述内容まとめ）: 9)参照）。

8. 医師会について

この度のアンケートの回答者のうち医師会会員は 303 名で全回答者の 65%を占めた（図 61）。勤務医に占める医師会会員が 57%（986 名）であり、会員からより多く回答を頂いたこととなります。当然ですが、若年層は会員の割合が少ない（図 62）。医師会への入会に関しては、「入りたくない」、「入らない」の答えが 30%、「入る予定」は 13%でした（図 63）。医師会費では、高いと答えた医師は 40%でした（図 64）。将来開業を考えているかたは、「状況によって」という方も入れると 35%に上っていました。

医師会に関連する「意見」を見ますと、「医師会入会に対するスタンス」を非医師会員に問うたところ、メリットがない、必要性を感じられないという意見が 48 意見中 34 件でした。「医師会費」については、勤務医にとっては高額であることが挙げられ、また会費の有効利用に疑問を呈している意見もありました（9.意見（記述内容まとめ）: 12）、13）参照）。

9. 意見（記述内容の解析）

各該当項目のところで意見の概略を記載しましたが、本項で主な意見の数を多い順に挙げていきますので、参考にして下さい。中でも現在の病院の問題点、解決方法に関しては、6)に示したように、様々な意見、問題点が 412 件も挙げられております。この記述内容から、現在の病院における様々な問題が浮き彫りにされています。

III. まとめ

このアンケートの内容を簡単にまとめてしまうことは危険かも知れませんが、今、病院勤務医が、過重労働に喘ぎながら、何とか医療レベルを落とさないように必死で努力している内情が浮き彫りにされているのではないかと思います。その過重労働の原因には、病院医師への医療行為の負担増に加え、医療行為とは言えない会議などがかなりの割合を占めており、これら医療行為以外の過度な負担にも多く医師が不満を抱えています。この解決には、医師の増員、仕事の効率化（負担の分散）、病院の体制改善などが挙げられています。また、女性医師はこれからますます増えていくと思いますが、出産、育児といった女性としての基本的権利を配慮した勤務システムの構築も必要と思われます。これらの問題解決には、医療人だけでは越えにくい困難なハードルが幾つもありますが、地域の医療水準を維持するために重要な役割を担っている病院勤務医の医療へのモチベーション、情熱を落とさず、その医療水準を一層向上させるためにも、医師会としてもこれら病院勤務医の問題の解決に総力を挙げて取り組んで頂きたいと思えます。

2005 年 10 月 10 日

武田 憲夫（記）

『山形県医師会 “勤務医アンケート”』 2005年6月

1. 基本事項 (表)

1) 年齢

		回答数	構成比
(1)	20歳代	33	7.1%
(2)	30歳代	142	30.6%
(3)	40歳代	146	31.5%
(4)	50歳代	103	22.2%
(5)	60歳代	30	6.5%
(6)	70歳代	6	1.3%
(7)	80歳以上	1	0.2%
	無回答	3	0.6%
	計	464	100.0%
	配布数	1298	
	回収率	36%	

2) 性別

		回答数	構成比
(1)	男	351	75.6%
(2)	女	59	12.7%
	無回答	54	11.6%
	計	464	100.0%

3) 勤務先病院での肩書

		回答数	構成比
(1)	研修医	16	3.4%
(2)	医員	77	16.6%
(3)	科長・医長・部長	212	45.7%
(4)	副院長	33	7.1%
(5)	院長	33	7.1%
(6)	助手	43	9.3%
(7)	講師	16	3.4%
(8)	助教授	8	1.7%
(9)	教授	12	2.6%
(10)	その他	9	1.9%
	無回答	5	1.1%
	計	464	100.0%

4) 現病院での勤務年数

		回答数	構成比
(1)	1年未満	65	14.0%
(2)	1-3年未満	91	19.6%
(3)	3-5年未満	74	15.9%
(4)	5-10年未満	86	18.5%
(5)	10-15年未満	68	14.7%
(6)	15-20年未満	42	9.1%
(7)	20年以上	35	7.5%
	無回答	3	0.6%
	計	464	100.0%

	無回答	8	1.7%
	計	464	100.0%

6) 病院規模
全病床数

		回答数	構成比
(1)	50床未満	8	1.7%
(2)	50-100床	30	6.5%
(3)	101-200床	47	10.1%
(4)	201-300床	58	12.5%
(5)	301-400床	51	11.0%
(6)	401-500床	73	15.7%
(7)	501床以上	180	38.8%
	無回答	17	3.7%
	計	464	100.0%

2.. 基本事項 (図)

図1:年齢構成

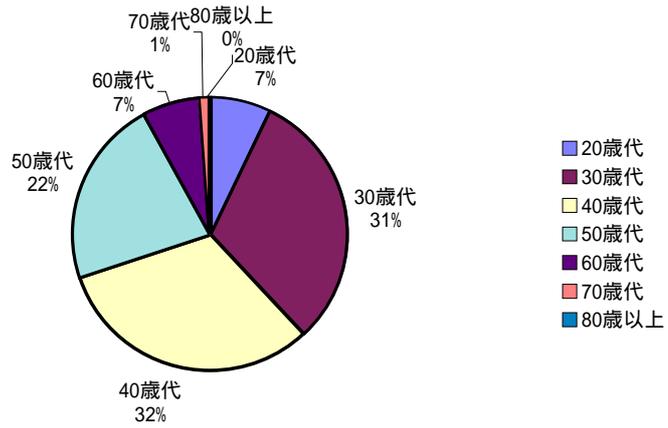


図2:性別

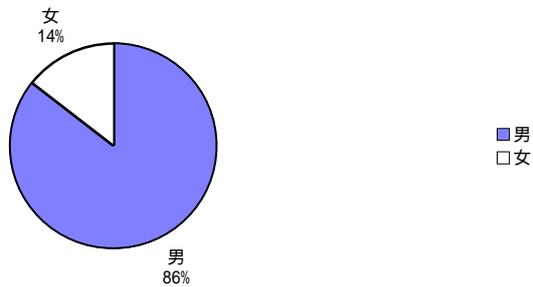


図3:専門別

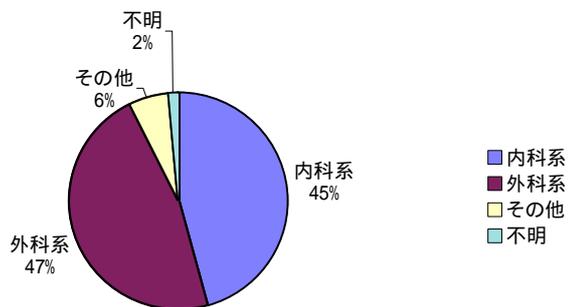


図4:設立主体

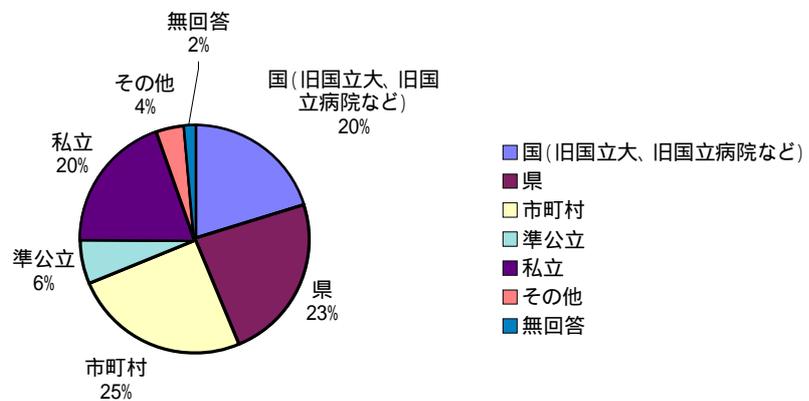


図5:救急部門

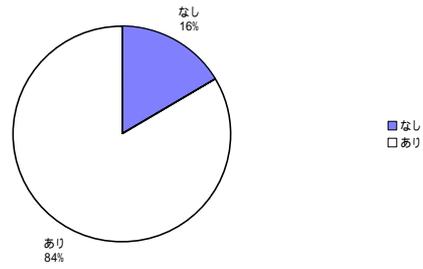


図6:当直医数

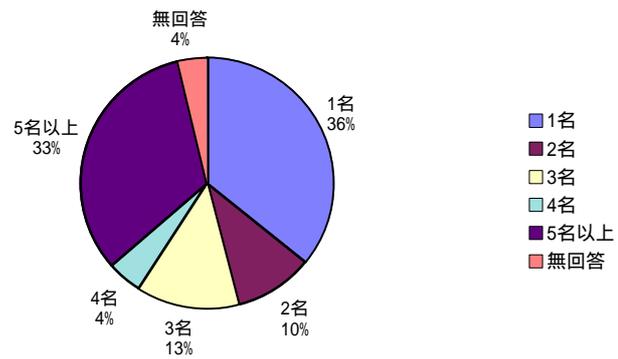
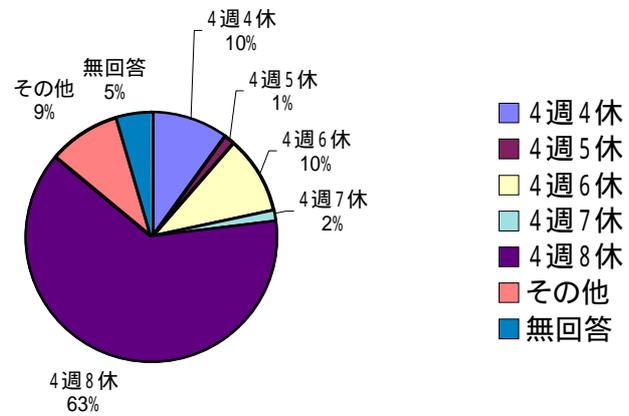


図7:週休



3.. 勤務内容

図 8 : 出勤時間

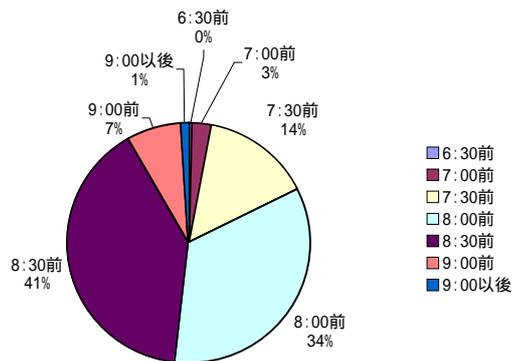


図 9 : 外来担当日/週

平均 2.9 日/週

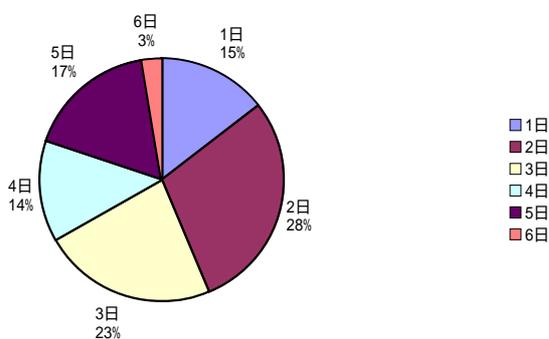


図 10 : 外来患者数

平均 83.9 人/週

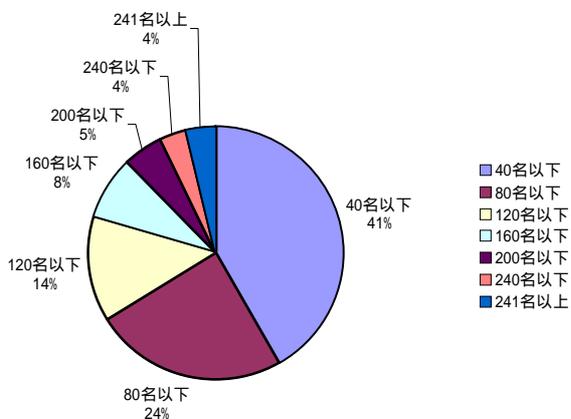


図 11 : 一人あたり病棟受け持ち

平均 17.3 人/日

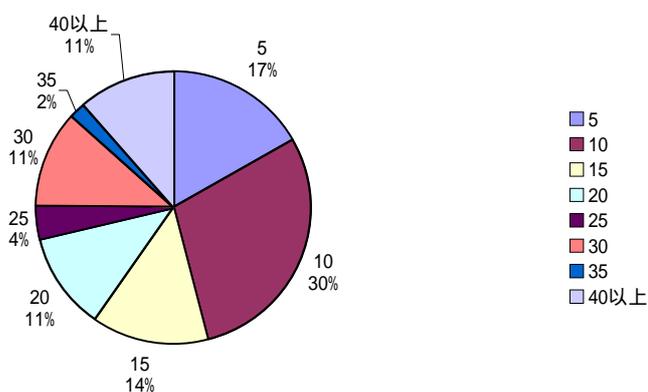


図 12：検査内容

各検査に携わる医師数

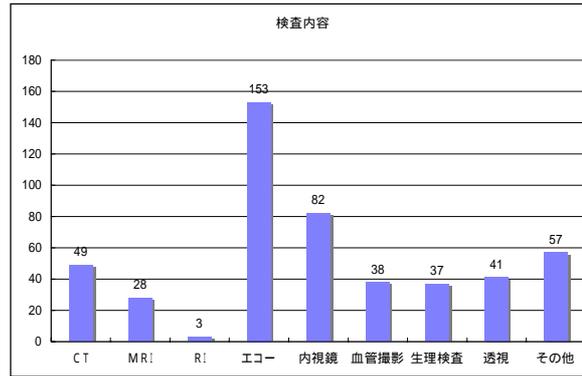


図 13：手術件数（件/週）

平均 4.5 件/週

（最多 40 件/週）

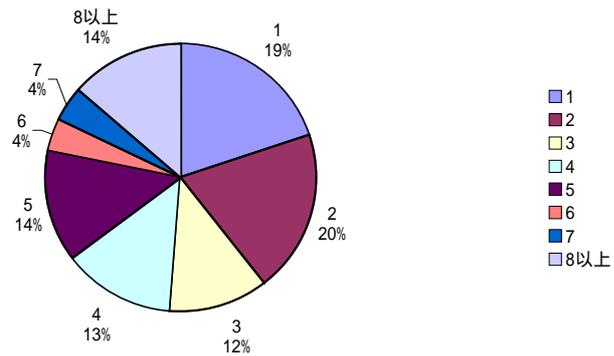


図 14：手術時間（時間/週）

平均 9.1 時間/週

（最長 50 時間/週）

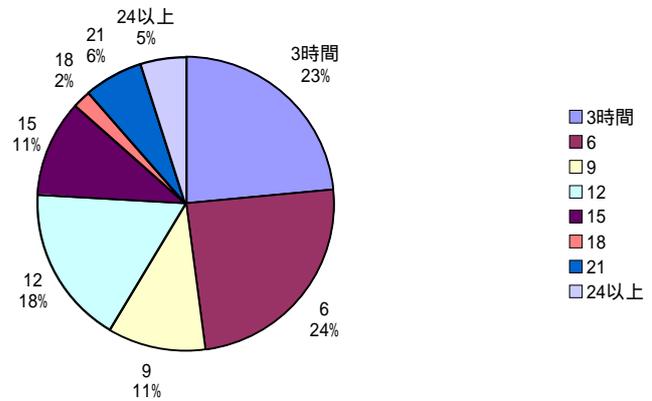


図 15：緊急手術件数

平均 1.5 件/週

（最多 10 件）

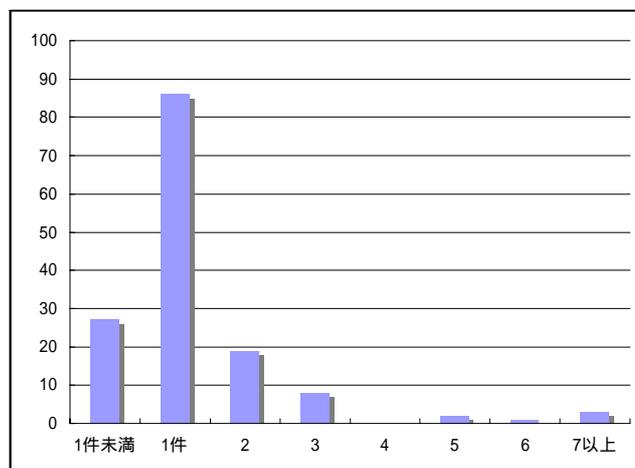


図 16:昼休み

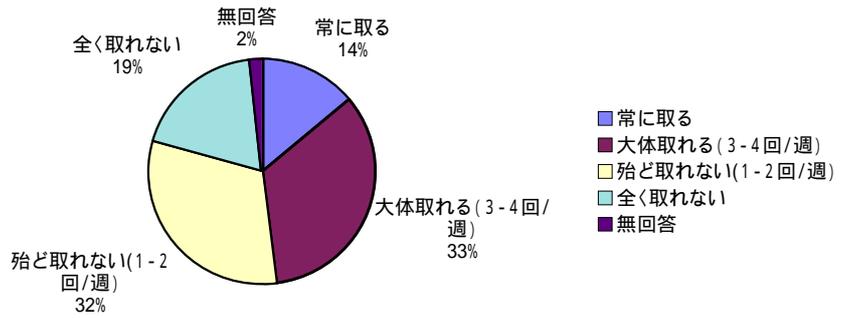


図 17:昼休み(年齢別)

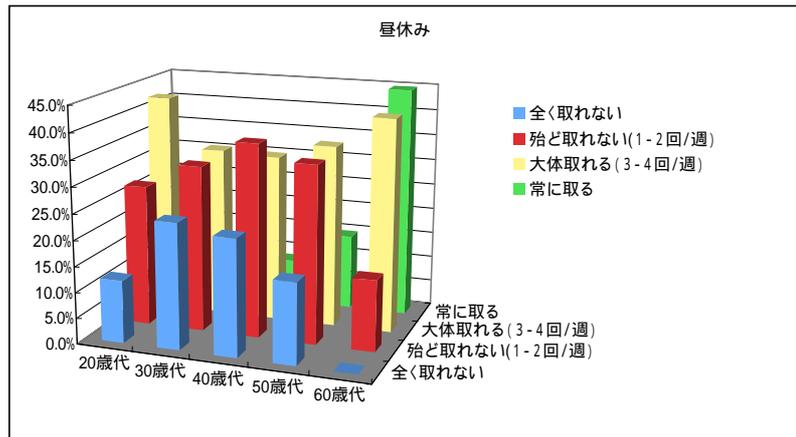


図 18:時間外勤務時間

平均 12.4 時間

(最長 63 時間)

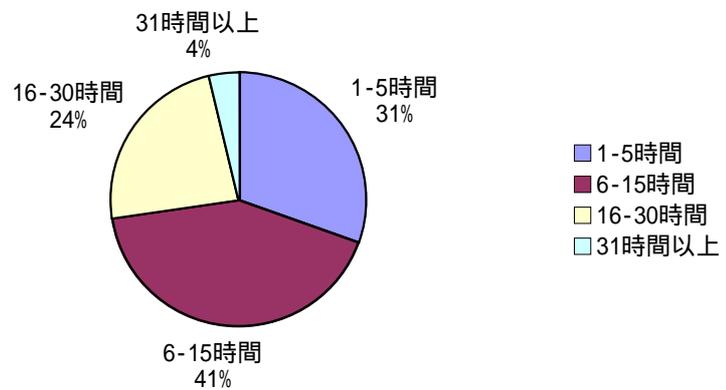


図 19:日当直の有無

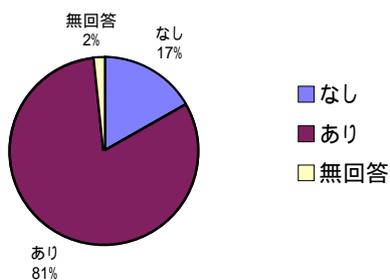


図 20:日当直の有無(年齢別)

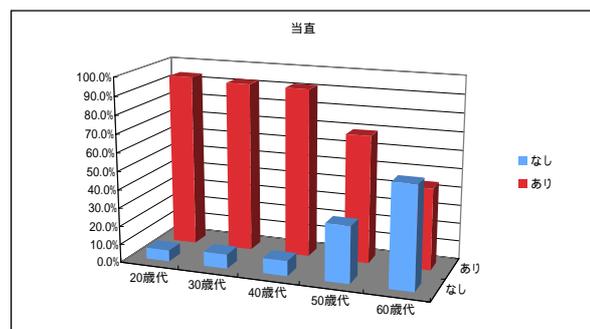


図 21:週日当直日数
平均 2.5 日/月

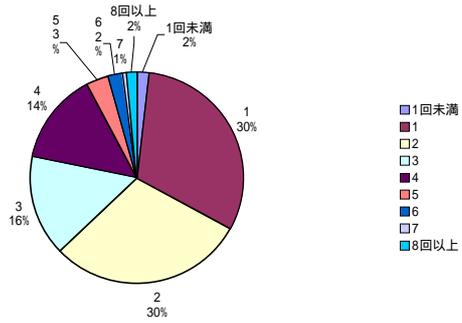


図 22:休日当直勤務日数
平均 1.5 日/月

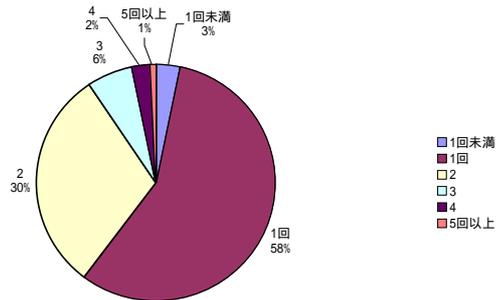


図 23:当直明け勤務

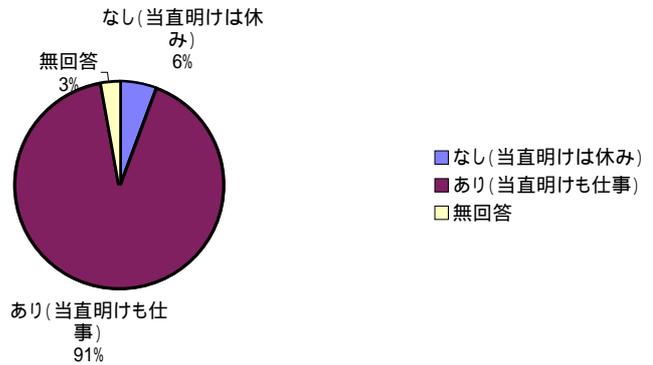


図 24:当直明けへの配慮
(当直明け午後休みなど)

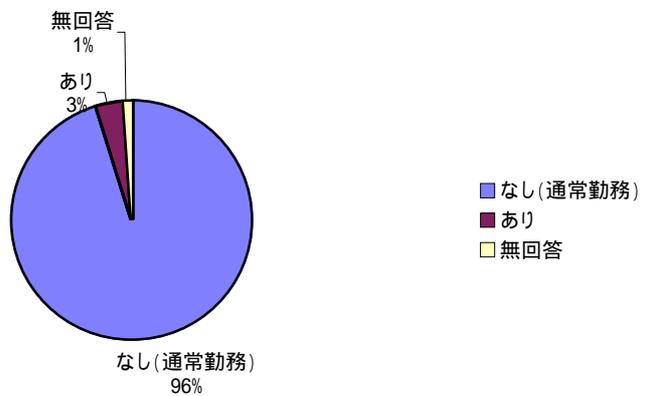


図 25:緊急呼び出し体制

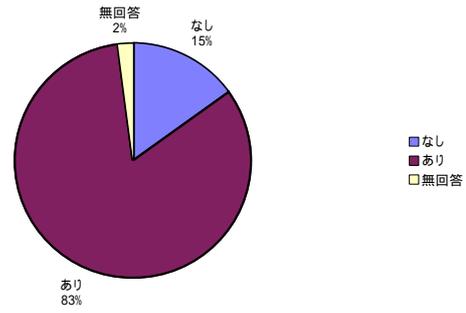


図 26:休日出勤

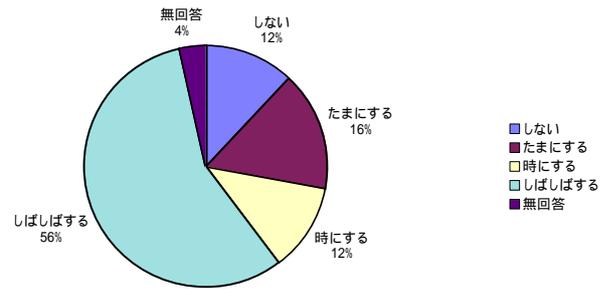
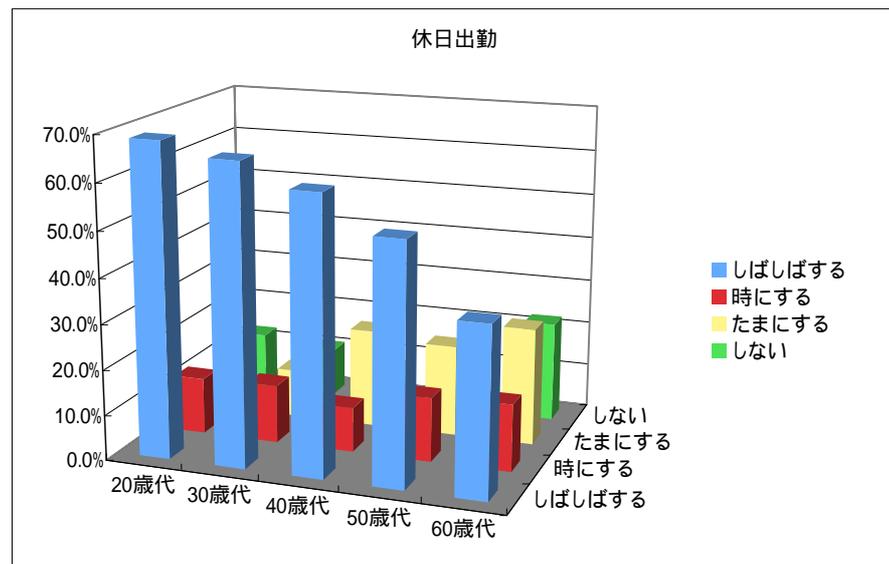


図 27:休日出勤(年齢別)



4. 勤務内容に対する意識

図 28:医療業務の仕事量

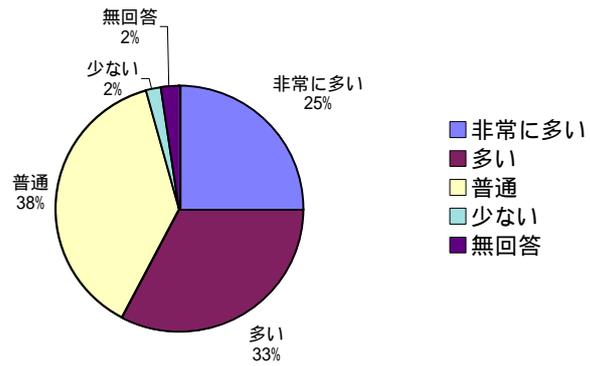


図 29:医療業務の仕事量(年齢別)

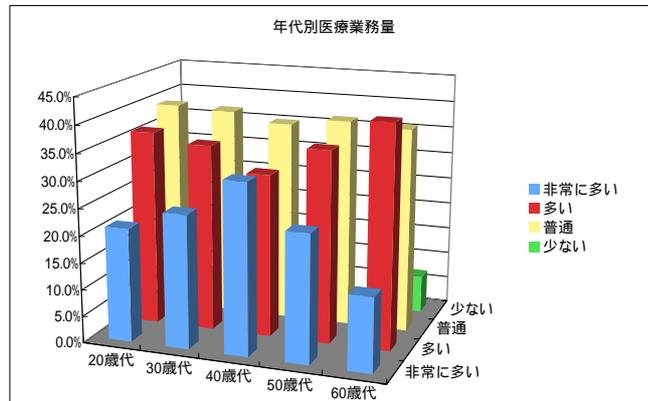


図 30:医療業務に対する満足度

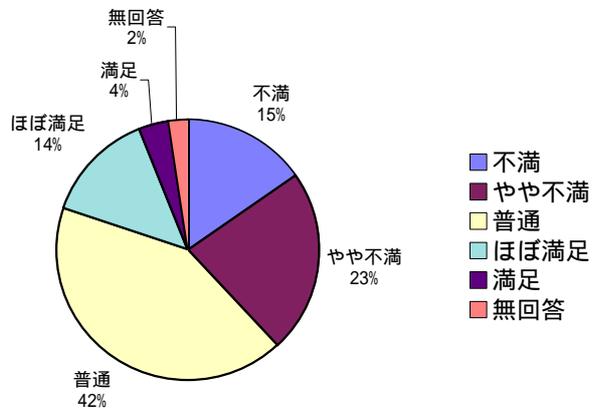


図 31:医療業務に対する満足度(年齢別)

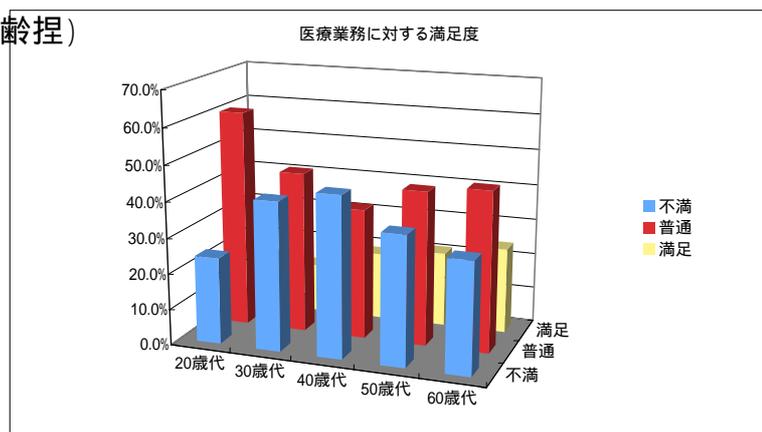


図 32:医療業務以外の仕事量

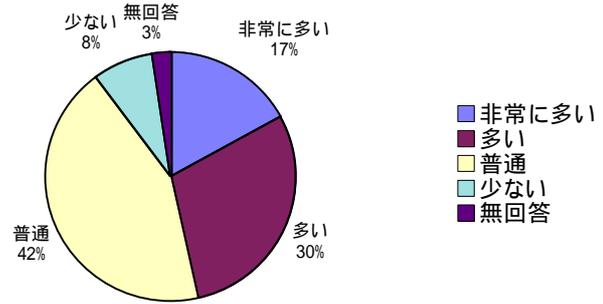


図 33:医療業務以外の仕事量(年齢別)

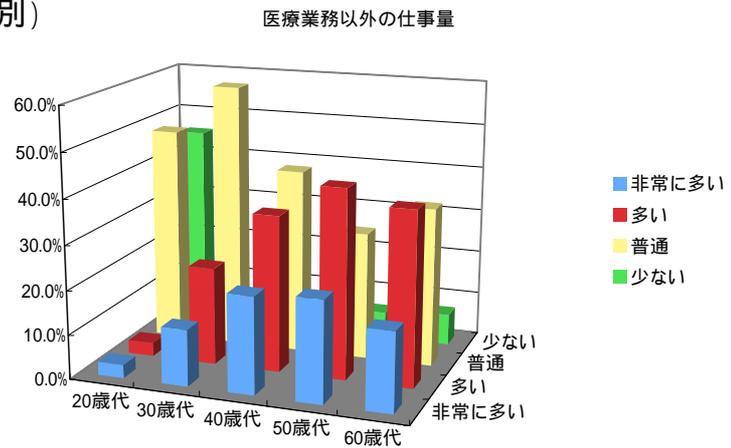


図 34:医療業務以外の仕事に対する評価

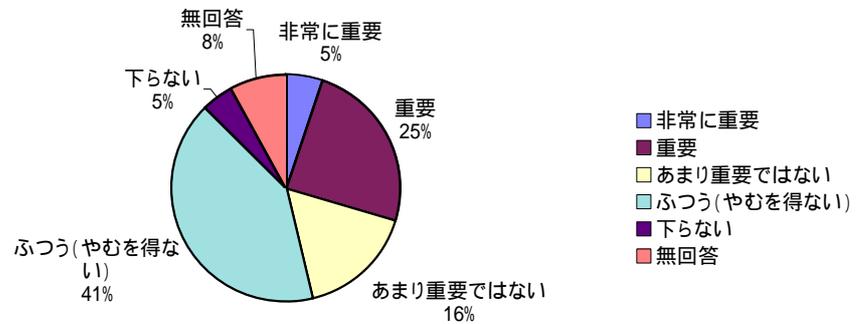


図 35:医療業務以外の仕事に対する評価(年齢別)

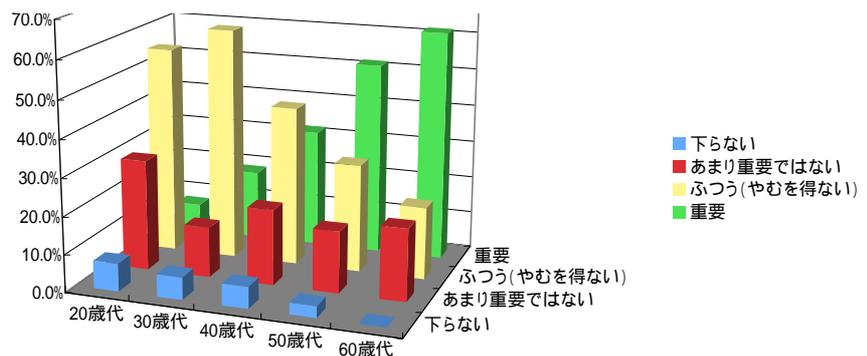


図 36:医療業務以外の仕事への満足度

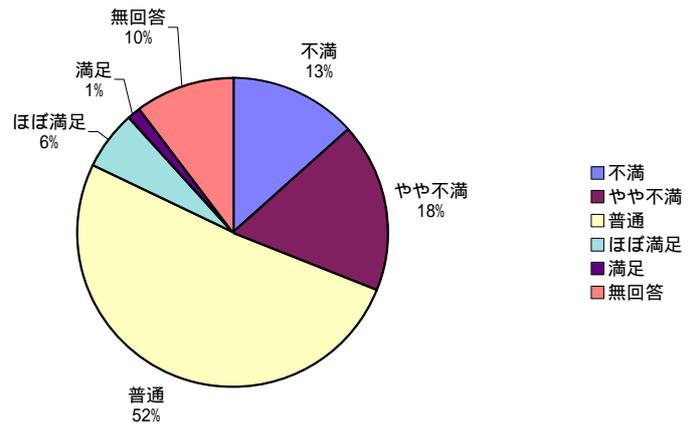
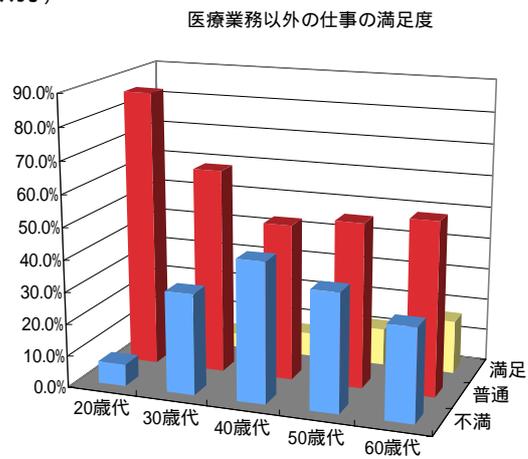


図 37:医療業務以外の仕事への満足度(年齢別)



5. 経済問題その他

図 38:出張費の支給

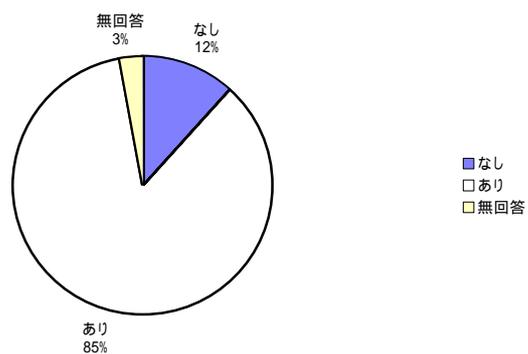


図 39:出張費の支給内容

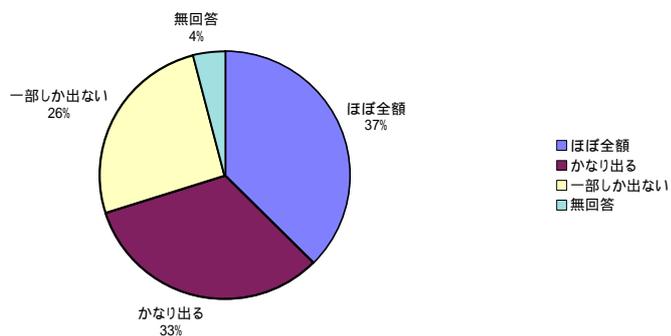


図 40:書籍、研究費

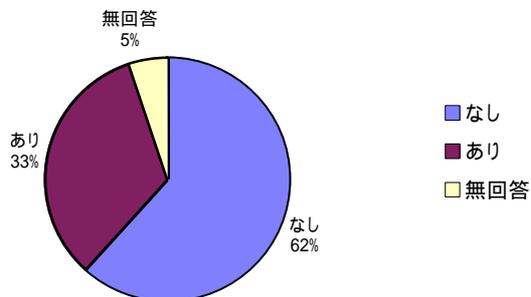
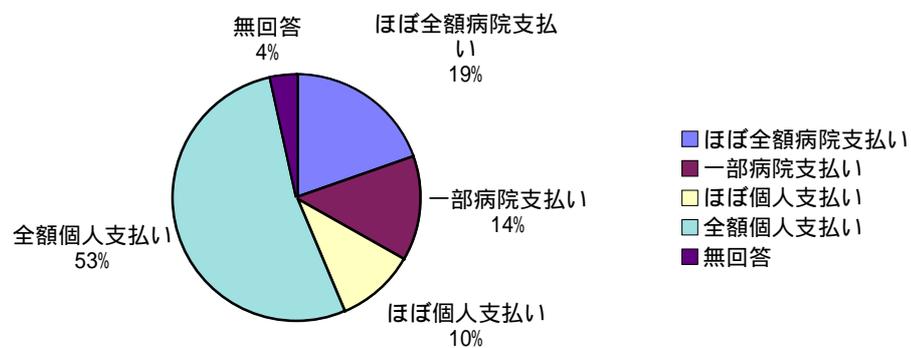


図 41:学会費、年会費



6. 病診連携

図 42：病診連携を行っている患者数

平均 16.1 名(無回答を除く)

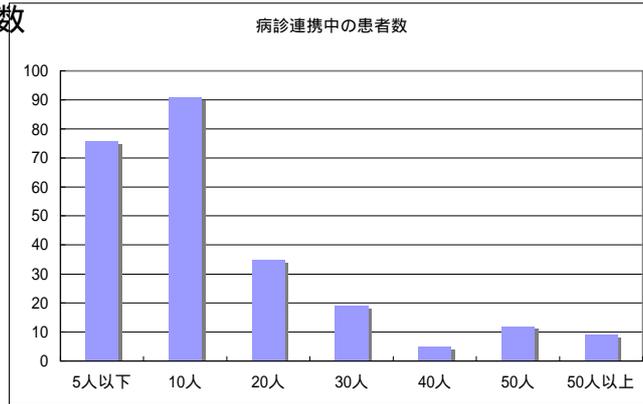


図 43：病診連携中の患者数 (%)

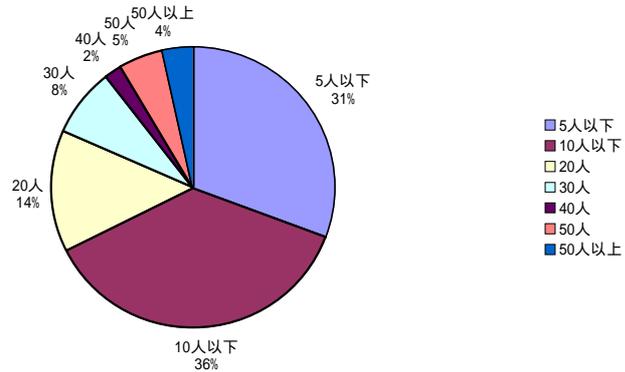


図 44：気楽に逆紹介出来る医療機関

平均 6.5 施設(無回答を除く)

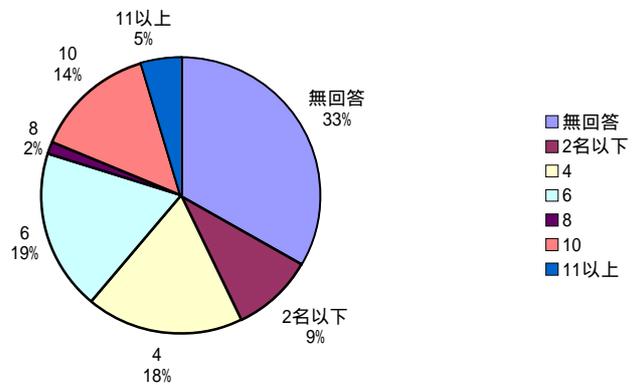


図 45：逆紹介率

平均 54.8%(無回答を除く)

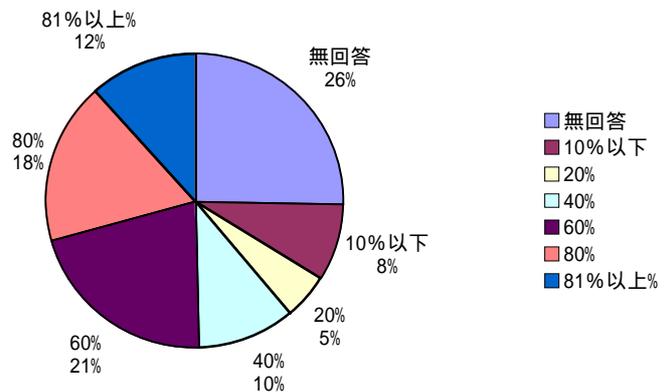


図 46:逆紹介の障害

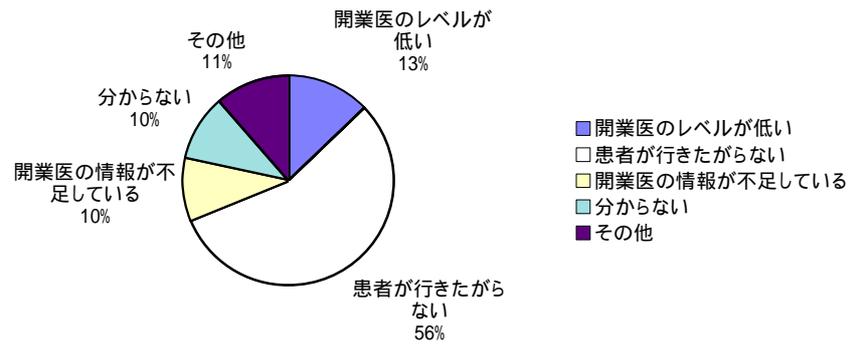


図 47:病診連携への IT の活用

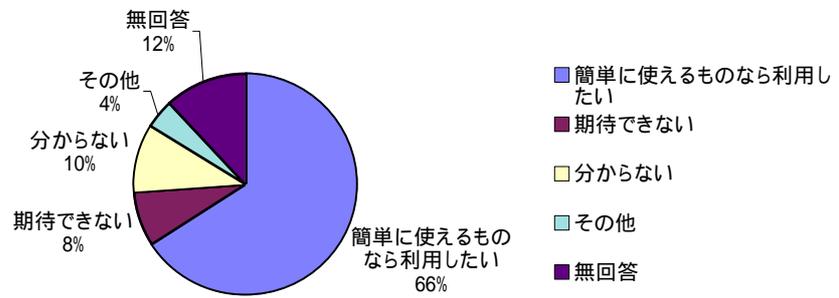
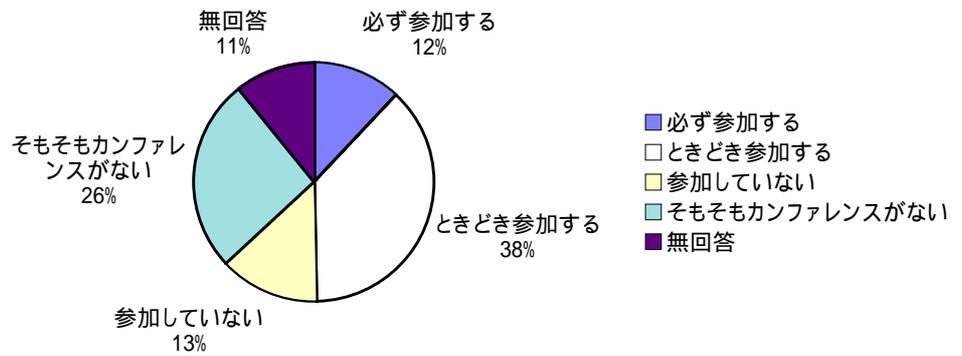


図 48:開業医との定期的カンファランスへの参加



7. 女性医師より

1) 基本データ

		回答数	構成比
(1)	男	351	75.6%
(2)	女	59	12.7%
	無回答	54	11.6%
	計	464	100.0%

図 49: 年齢分布 (女性)

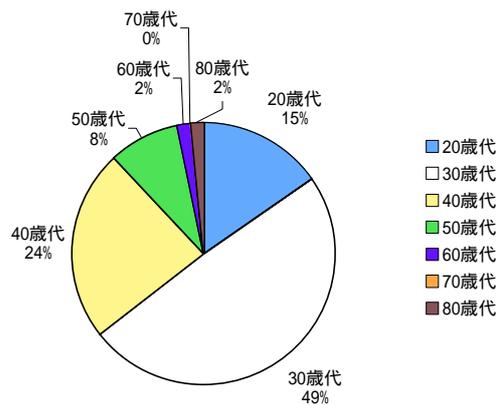


図 50: 子供の人数

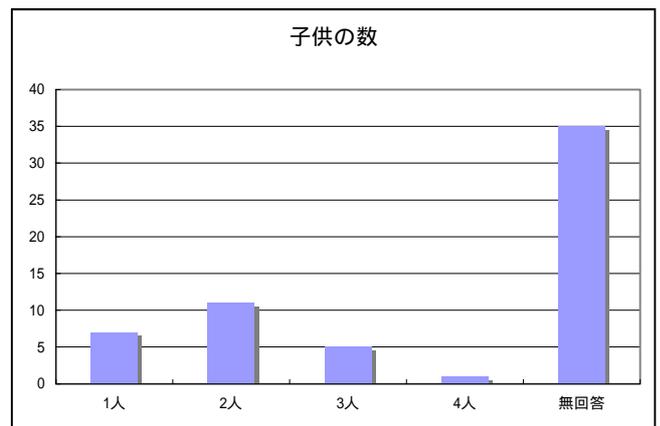
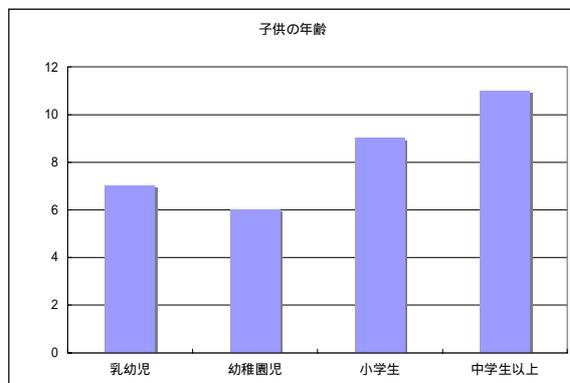


図 51: 子供の年齢



2) アンケート結果

図 52: 女性への配慮

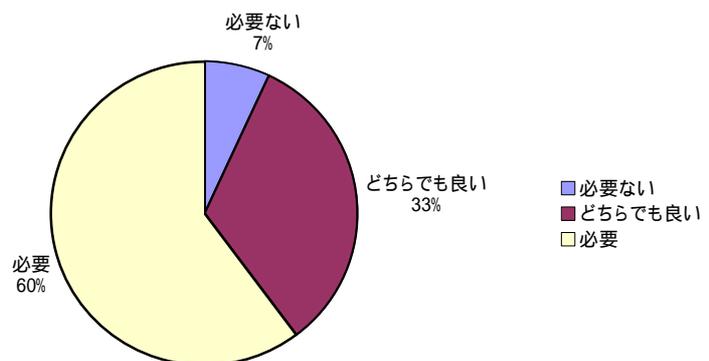


図 53:男性との差別感

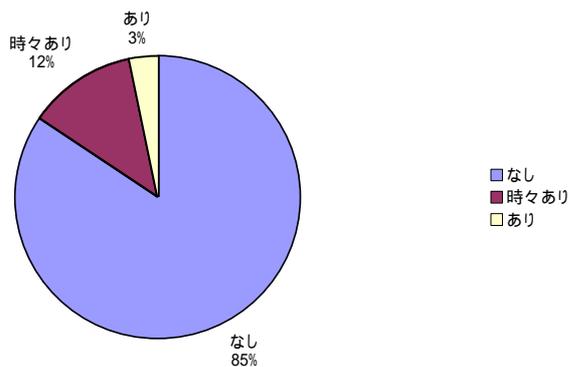


図 54:ご家族の協力

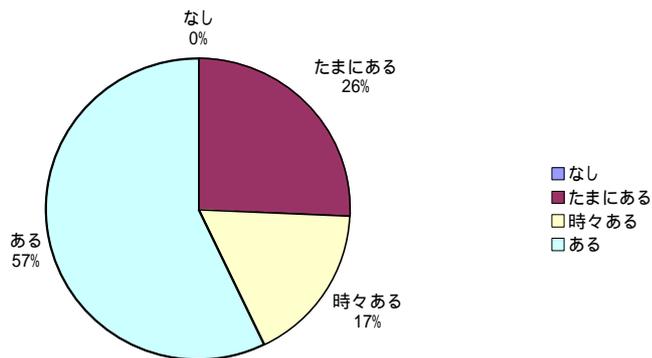


図 55:協力者

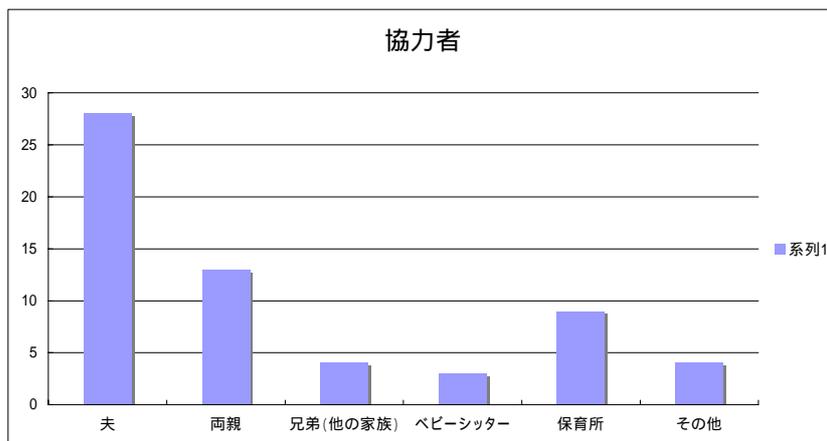


図 56:子育ての問題点

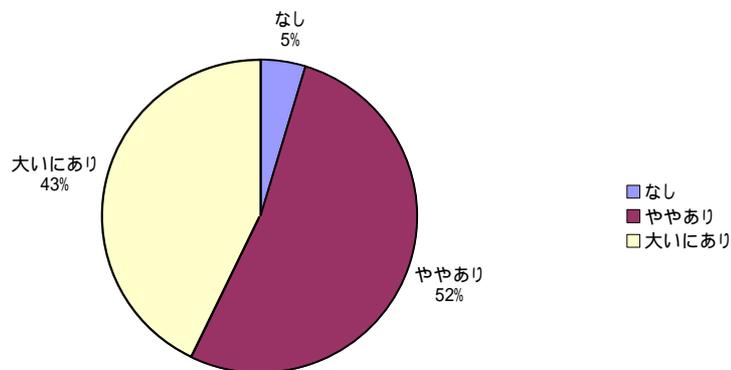


図 57:産休期間

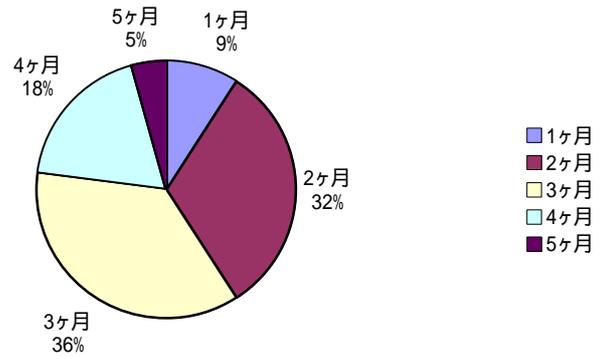


図 58:育休期間

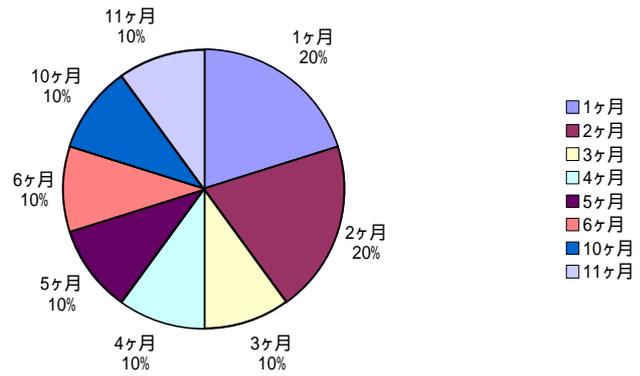


図 59:病院への要望

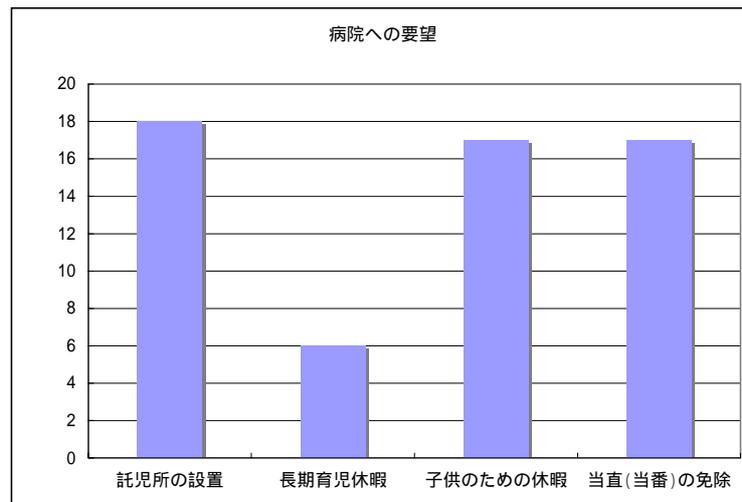
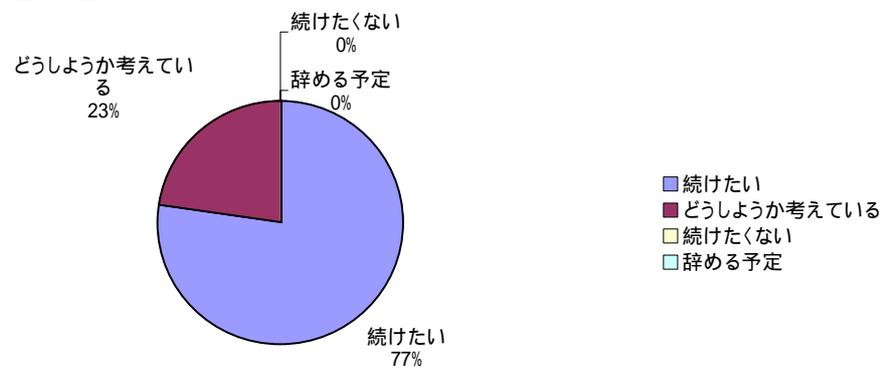


図 60:医師としての仕事の継続性



8. 医師会について

図 61：医師会会員

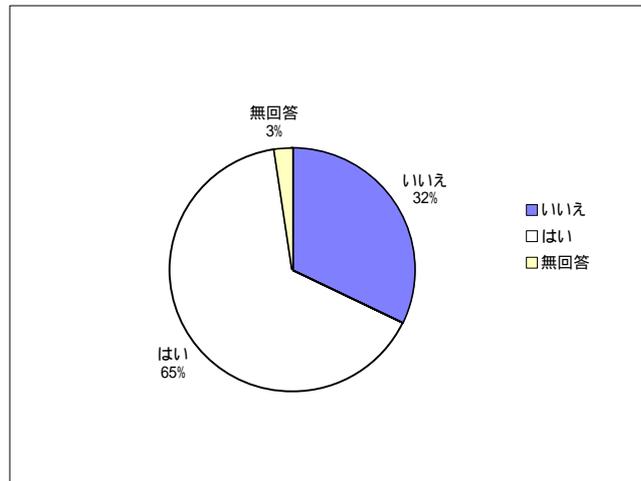


図 62：医師会会員（年齢別）

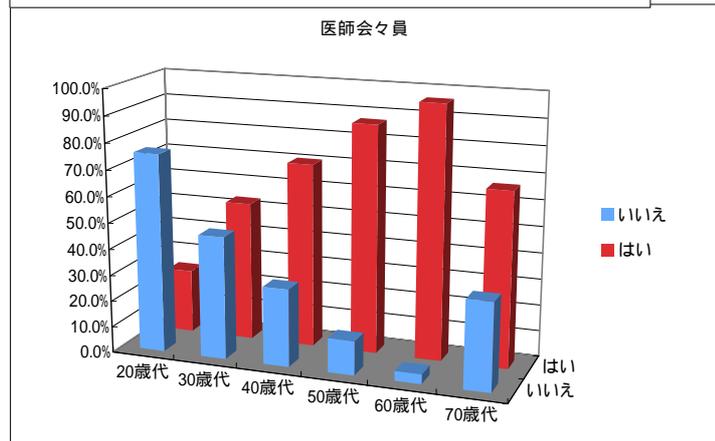


図 63：医師会入会へのスタンス（非会員）

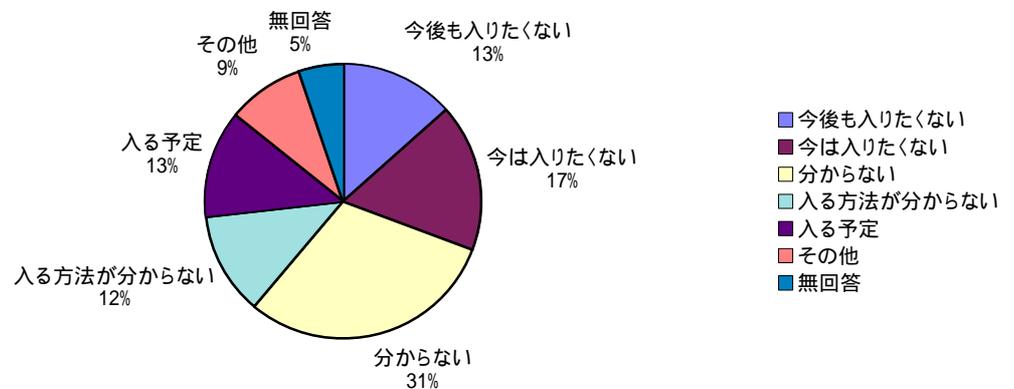


図 64：医師会費について

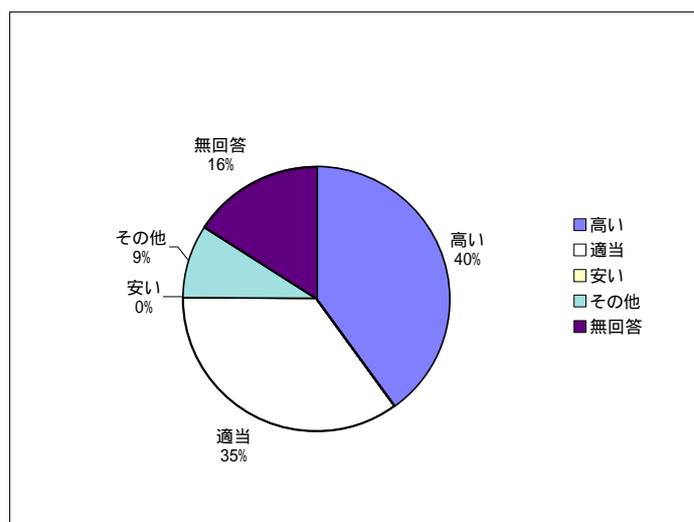
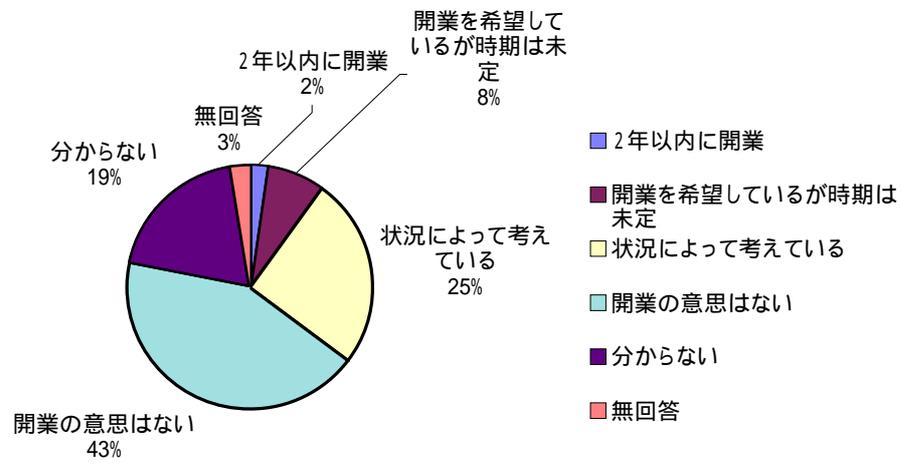


図 65：将来の開業予定



9. 意見（記述内容のまとめ）

注：数字は意見の数（複数回答あり）

- 1) 昼休みが取れない理由
140 意見
忙しく時間がない 139
子供を迎えに行くため 5 時に帰る必要がある 1
- 2) 時間外勤務の理由
257 意見
忙しく仕事が終わらない。 ほぼ全て
- 3) 休日出勤の理由
289 意見
通常の勤務日のみでは仕事が終わらない 大多数
研究、講義準備 8
- 4) 医療業務が多い理由
192 意見
如何に忙しいかが切々と書かれている。
例
「制度改革でどんどん仕事量が増えている。しかしその対策は何もなされていない。」
「要求される医療の高度化に対し、スタッフ、システムが以前のまま」
「医師の数が少ない」「雑用が多い」などなど
- 5) 医療業務に不満の理由
121 意見
「医師の負担が多すぎる」、「忙しさ、リスクに見合った待遇がない」
「雑用が多すぎる」、「忙しすぎる」などなど
- 6) 医療業務以外の業務が多い理由
152 意見（重複有り）
会議 125（大多数）
教育 17
書類 8
雑務 6
- 7) 医療業務以外の業務に不満の理由
68 意見
「会議に時間が取られ、診療する時間が削られる」、「医師のみに負担させている」
「会議が多すぎる」
など診療行為以外の仕事が多すぎ、診療時間が圧迫されることの問題点が挙げられている。
- 8) 病院の問題点、解決方法についての意見
412 意見（重複あり）
 1. 医師不足の解消 163
 2. 病院の体制改善 76
 3. 効率が悪い 42
 4. 給与（時間外手当がない、安い報酬） 28

5. コメディカルの不足	27
6. 施設の老朽化	25
7. 経営問題	21
8. 人により仕事量に差がありすぎる	19
9. 仕事量が多すぎる	19
9) 女性へ仕事上配慮して欲しい内容	
30 意見 (重複あり)	
1. 妊娠、子育て時の時間的配慮	20
2. 体力	5
3. 危険防止 (妊娠時)	3
4. 女性用の設備	2
5. 時間的配慮	2
10) 女性医師の子育ての問題点	
16 意見	
子供の育児、教育、病気などへの心配	13
11) 女性医師として仕事を続けて行く上での問題点	
12 意見	
子育て、育児に関しての心配	7
時間の余裕が必要	4
12) 医師会入会についての意見	
48 意見	
入会を考えていない理由 (重複あり)	
メリットがない	21
必要性が感じられない	13
会費が高い	11
開業医の利益団体である	2
会費の使用明細が不明瞭	1
13) 医師会費について	
52 意見	
高い	23
金額を知らない	20
無駄が多い	6